

綿業年次一紡織労働組合顧問

友愛会十八週年大會に於て産業別労働組合組織を組織する  
 こととなり江東方面に於ける紡織労働組合と糾合して紡  
 織労働組合の奨励を以て奨励一時十名此を把握する  
 らんとするも大の九年富士紡織止工の市議決り奴  
 の結果僅かに東京千柳 五 増上 物上員の力救を  
 以て維持し来たるものが定年の行時富士紡織市議  
 決り来者として突発し其の新七の大会と反作するに  
 力ありと経過も報告す 然るも其記の書記を任  
 命し 老支那を以て買控 皇皇世と其支言を以て  
 五分回件借 十時 四十五分 両会 以買控 白富世と其支言  
 長大越件忠より一九二二を有買控 者と認めらる

此を報告滿均一路登徳次の議長選挙に際し司會者あり  
 山根と推し 一副議長に 塩原を推し 黒崎無し可快  
 友愛團體の代表祝辞演説

- 関東合同労働組合 (細石 裕吉) 東京革工組合 (日美義  
 明) 東京鉄工組合 (川崎 甚) 関東運送労働組合  
 (小岩 申 和助) 関東同業 (三井 榮 健一) 綿田 忠 幸  
 人 高 益 (松岡 勉 吉) 綿田 忠 幸 (上 保 登一) 自治会  
 (送田 益 哲一) 連友 同業会 (石 塚 幸 次 郎)

講演 要旨

向年の産業は 緞織工業を指して他はなし 斯業に 従事する者  
 働か 八十九の 婦人 工 働者 労働者 九十九方 中の 一は 之は 之は 従  
 る 者 之は 此は 労働 運動 労働 組合 労働 組合 労働 組合 労働 組合